

# 鮮やか緑色 校内で茶摘み

## 蘇南高生ら、特産の魅力に触れる



校内の茶畑で茶摘みを体験する生徒たち＝南木曾町の蘇南高で

南木曾町の蘇南高校の一年生四十九人と新たに赴任した教師らは十二日、校内の茶畑で茶摘みを体験した。もえぎ色に染まった茶畑で十キロほどの茶葉を収穫し、地元特産の魅力を学んだ。

県内では温暖で急勾配がある同町は茶の産地。かつて同校にも広い茶畑があり、生徒が収穫していたが、学校施設の建築で畑がなくなり中断していた。しかし茶摘みの伝統を守りたい保護者の呼び掛けもあり、二キロほどの茶畑を復活。学校職員が管理し、十五年ほど前から一年生らが収穫している。

生徒は学校職員から新芽と下の葉三枚の「一芯三葉」を摘むよう説明を受け、友人と会話を楽しみながら、茶の品種「やぶきた」の茶葉を手持ちのポリ袋に収穫していった。今年は大型連休に気温が下がったため、例年より収量は少ないという。

参加した麦島勝男さん(五十)は「地元にもめったに体験できない。おいしそうな明るい色の茶葉を探すのが楽しかった」と笑顔で振り返った。

収穫した茶葉は町内の製茶工場で加工し、生徒が家に持ち帰ったり、同校の来客に振る舞ったりする。

(戸田稔理)